

- drupa2012レポート
- DTPと印刷制作の流れ
- クラウドでマシンが軽量化へ
- Adobe Creative Cloud
- Japan Color 2011
- 海外スマートデバイスの上陸
- ハイブリッド印刷

など、2012年の最新印刷情報と基礎知識を一冊に!

[カラー図解]

# DTP & 印刷

## スーパーしくみ事典

基礎知識から  
最新情報を完全網羅!

# 2013

# 魅力あるラインナップで 大判インクジェット市場を牽引する 日本ヒューレット・パッカートの注目機種



日本ヒューレット・パッカート株式会社  
プリンティング・パーソナルシステムズ事業統括  
ワイドフォーマットビジネス本部 本部長  
根本 勲氏

日本ヒューレット・パッカート（以下、日本HP）といえば印刷業界になじみ深いのが「HP Designjetシリーズ」。現在このシリーズのグラフィック市場向け製品は、水性顔料インクモデルとHP Latexインクモデルの2系統をラインナップしている。それぞれのインクシステムの特徴と注目製品について、日本HPに伺った。

□日本ヒューレット・パッカート株式会社 □<http://www.hp.com/jp/designjet>

## ■ 60万円を切った Adobe PS 3搭載B0プラスモデル

2010年6月に発表された「HP Designjet Z5200PS」を見て最初に驚くのが本体価格（598,000円／税抜き）。これは従来の同社B0モデルと比べても半分程度の価格である。「Designjetシリーズはこれまで、ブルーフとサイン、POPといった多くの用途に対応してきました。サービスビューローのように大量に大判印刷を行う現場ではスピード、画質のすべてに最高のスペックが求められますが、もっと手軽に、しかもローコストで大判印刷を手がけたいといったお客様も多い。そこで送り出したのがHP Designjet Z5200PSです」

日本HPではエントリーモデルと位置づけている

が、HP Designjet Z5200PSは「ユーザーがうれしい」3つの特徴を備えている。①印刷スピード、②色の再現性、③ランニングコストの安さだ。とくに消耗品のコストに注目し、廃インクも含めてインク消費量が少なくなるように設計している。その結果、印刷単価を抑えることができるのだという。「本体価格が安いプリンタは、ランニングコストが高いと思われがちですが、この製品はその点にも十分配慮しています。大判印刷はコストがネックとお考えの方にも幅広く活用いただきたいですね」

## ■ 多用途に使えるHP Latexインク

そして、印刷のみならずサイン・ディスプレイ市場から注目を集めるのが「HP Latexインクテクノロジー」だ。これは現在7製品をラインナップするが、出荷台数で見ると61インチモデルである「HP

Designjet L26500」が需要の多いメディア幅に対応しており人気が高い。

「Latexインクはインクジェット専用紙が必要ないので、オフセット印刷本紙もメディアとして扱えるのが大きな特徴です。鮮やかさは水性顔料に近く、画質は低溶剤と同等、メディア対応力はそれ以上の幅広さといえば、イメージをつかみやすいのではないのでしょうか」

特殊なイメージを持たれがちなLatexインクだが、ノンコート用の紙が扱えることからコストメリットも水性顔料に比べて高いようだ。今では屋外掲示が可能という特徴が活かされたバナーやタペストリー印刷、カーラッピングなどの事例が多いが、インクそのものの特徴が印刷業界に知られば、最終成果物はもちろん、紙器パッケージなどのダミー制作にも活用されるようになるだろう。

## HP Designjet Z5200PSが標準搭載する機能

Adobe PostScript 3 RIP搭載  
ハードディスク:160GB、メモリ:32GB

分光測色器「i1」



HP Vivera顔料8色インク  
(シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトグレー、ライトマゼンタ、マットブラック、フォトブラック)

印刷可能ロールサイズ:  
A4 ~ B0 サイズ  
印刷スピード:  
2.9分(A1/光沢紙・高速モード)

エントリー製品ながら、その仕様はプロユーザーが必要とする機能をすべて網羅した隙のない内容。とくにヘッドのキャリッジ部分に搭載された分光測色器「i1」は、自動キャリブレーションや用紙プロファイル作成ができ、色にこだわるグラフィック用途では欠かせない。買い替えや増設しやすい本体価格（598,000円）が何よりも魅力的だ。

## HP Designjet Z5200PSの印刷事例



大判プリンタの王道の、使い方であるポスターやPOPを内製化する目的で、サービス業分野でも人気が高いHP Designjet Z5200PS。オフセット印刷のブルーフに加え、色域の広さと内蔵の測色器を活かした色再現も高評価となっている。

## HP Latexインクの印刷事例



上はインクジェットコート層のないオフセット印刷用のコートボールに直接印刷したもの。左と下は合皮素材や養生シートなどに印刷した例。これまでのインクジェットプリンタにない使い方を見ることが出来る。

